

令和3年度

社会福祉充実計画

(別紙1)

平成29年度～令和5年度 社会福祉法人 育賛会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	育 賛 会	法人番号	4360005002217			
法人代表者氏名	理 事 長 佐 渡 山 安 輝					
法人の主たる所在地	沖縄県うるま市石川嘉手苅 961 番地 17					
連絡先	098-965-4152					
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	—					
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	—					
評議員会の承認年月日	令和4年6月20日					
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成28年度末現在)	1か年度目 (平成29年度末現在)	2か年度目 (平成30年度末現在)	3か年度目 (令和元年度末現在)	4か年度目 (令和2年度末現在)	5か年度目 (令和3年度末現在)
	214,530 千円	220,310 千円	202,820 千円	219,260 千円	261,200 千円	259,850 千円
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)		▲216千円	0千円	0千円	▲9,745千円	▲45,350千円
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	6か年度目 (令和4年度末現在)	7か年度目 (令和5年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額		
	259,850 千円	259,850 千円		0千円		
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)	0千円	▲259,850 千円	▲315,161 千円			
本計画の対象期間	平成29年6月1日～令和6年1月31日					

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目	楽寿園施設改築事業	社会福祉事業	新規	社会福祉充実計画原案に係る意見聴取及び確認書作成業務	無	216千円
	小計					
2か年度目	楽寿園施設改築事業	社会福祉事業	既存		無	0千円
	小計					
3か年度目	楽寿園施設改築事業	社会福祉事業	既存		無	0千円
	小計					
4か年度目	楽寿園施設改築事業	社会福祉事業	既存	地盤調査費用、7ｽﾌﾟﾙｽﾄ含有調査費用 設計業務委託費用分割払い	無	9,745千円
	小計					
5か年度目	楽寿園施設改築事業	社会福祉事業	既存	7ｽﾌﾟﾙｽﾄ含有調査費用、設計業務委託 費用分割払、測量委託費、ﾃﾞｲｯｸﾞﾋﾞｽ 改修設計業務分割払、外構基本設計		45,350千円
	小計					
6か年度目	楽寿園施設改築事業	社会福祉事業	既存	施設改築工事着工		0千円
	小計					
7か年度目	楽寿園施設改築事業	社会福祉事業	既存	施設改築工事竣工		1,948,364千円
	小計					
合計						2,003,675千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の用途に関する検討結果

検討順	検討結果
①社会福祉事業及び公益事業 (小規模事業)	<p>昭和54年の開所以来40有余年が経過し、建物及び付属設備の老朽化が著しい。利用者へ提供するサービスの質の向上や、安心・安全で快適な住環境の整備を目標とした施設改築を進めなければならない。</p> <p>改築に向けた取り組みとして、平成24年3月2日、第1回施設改築等検討委員会を開催。第4回開催時には設計業者が選定されたのだが、第6回開催同委員会において「楽寿園施設改築等基本計画(案)」の“総事業費約28億円”が協議の争点となった。平成25年度第3回育賛会評議員会・理事会における審議事項「楽寿園施設改築等基本計画(案)について総事業</p>

	<p>費が膨大になり、償還計画を立てることが困難になったことから改築は当面の間保留とする」ことが承認された。</p> <p>しかしながら、上記目標達成のために施設改築は必須であり急務であることに変わりはなく、総事業費の一部として事業収益を充てる事は当然の選択である。</p> <p>令和3年6月、さらなる縮小案を基に総事業費概算の見直し案を定時評議員会へ提案し、承認された。同時に所轄庁のうるま市へ同計画の変更案を申請し承認され継続中である。</p>
②地域公益事業	①の取組みを実施する結果、残額は生じないため実施しない。
③ ①及び②以外の公益事業	同 上

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1ヶ年度目	2ヶ年度目	3ヶ年度目	4ヶ年度目	5ヶ年度目	6ヶ年度目	
楽寿園施設改築事業	計画の実施期間における事業費合計	216千円	0千円	0千円	9,745千円	45,350千円	0千円	
	財源構成	社会福祉 充実残額	216千円	0千円	0千円	9,745千円	45,350千円	0千円
		補助金	—	—	—	—	—	—
		借入金	—	—	—	—	—	—
		事業収益	—	—	—	—	—	—
		その他	—	—	—	—	—	—

事業名	事業費内訳	7ヶ年度目	合計	
楽寿園施設改築事業	計画の実施期間における事業費合計	1,948,364千円	2,003,675千円	
	財源構成	社会福祉 充実残額	259,850千円	315,161千円
		補助金	367,000千円	367,000千円
		借入金	831,675千円	831,675千円
		事業収益	489,839千円	489,839千円
		その他	—	—

5. 事業の詳細

事業名	楽寿園施設改築事業	
主な対象者	—	
想定される対象者数	—	
事業の実施地域	うるま市石川嘉手苅 961 番地 17	
事業の実施時期	平成 29 年 6 月 1 日～令和 6 年 1 月 31 日	
事業内容	施設改築に係る総事業費の一部へ事業費を充てる。	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	社会福祉充実計画原案に係る意見聴取及び確認書作成業務
	2 か年度目	充実計画原案継続中
	3 か年度目	充実計画原案継続中
	4 か年度目	充実計画原案実施期間変更（延長）届
	5 か年度目	変更充実計画継続中
	6 か年度目	施設改築工事着工（令和 4 年 10 月）
	7 か年度目	施設改築工事竣工（令和 6 年 1 月）
事業費積算 (概算)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6,585 m²(床面積縮小案) × 25 万円(1 m²単価)=16 億 4,625 万円(建築費) ○ 16 億 2,500 万円(建築費) × 10%=1 億 6,462 万 5 千円(消費税) ○ 13 億円(交渉建築費) × 6%=7,800 万円(設計料) 税込 8,580 万円 ○ 備品等=約 1 億 700 万円 ⇒ <u>総事業費約 20 億 367 万 5 千円</u> ○ 自己資金 8 億 500 万円(令和 2 年度末積立金総額) ○ 交付金 3 億 6,700 万円 ○ 借入金 8 億 3,167 万 5 千円(償還期間 30 年) ⇒ <u>年間/約 2,773 万円(ユニット型施設移行後の収入増を見込んだ額とする)</u> 	
	合計	2,003,675 千円
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

本計画の事業規模は総事業費 20 億円超の大規模事業となる。事業終了後（施設建て替え終了後）の社会福祉事業運営を円滑に行うため、借入金を無理なく安全に償還できるよう慎重に計画を進めてきた。自己資金（積立金）が総事業費の4割程度まで積み立てられたのが令和元年度末であり、骨組みとなる「基本計画」がまとまったのが令和2年度末と遅れをとったことから齟齬が生じ、実施期間が5か年度を超えることとなった。

社会福祉充実額算定シート

1. 「活用可能経費の算定」

項目	金額
経費 (a)	1,211,863,998
負債 (b)	121,046,496
基本金 (c)	13,164,661
国庫補助金等特別預備金 (d)	18,052,861
合計 (a-b-c-d)	1,077,813,902

手入力 (必須入力) されないです (※「社会福祉法人の財務諸表等電子報告システム」掲載数では、前一年度算定済の計算結果が記載されているので、手入力は不要となります。)
 計算式が指定されている入力するものではありません。
 手入力する必要があります。(行頭の欄には、記載事項に応じて入力してください)
 合計欄も算出するための計算式が指定されています。入力することはできません。
 プルダウンリストから選択する必要があります。重複入力することはできません。

2. 「社会福祉法に憲づく事業に活用している活動経費」

項目	金額
1. 年間の通常事業活動経費の算入	5,151,150
2. 年間の通常事業活動以外の活動	13,990,416
3. 大規模修繕	1,000,000
合計 (a)	10,141,566

(3) 合計

項目	金額
活用可能経費 (a)	1,077,813,902
列記負債 (b)	121,046,496
列記基本金 (c)	13,164,661
国庫補助金等特別預備金 (d)	18,052,861
合計 (a-b-c-d)	943,650,106

3. 「再取償に必要経費」

取償年度	経費発生年度 (令和元年度)	経費発生年度 (令和元年度)	大規模修繕経費	実務委託経費	① 施設工賃費 (ア) (円)	② 施設工賃費 (イ) (円)	③ 施設工賃費 (ロ) (円)	④ 施設工賃費 (ハ) (円)	⑤ 施設工賃費 (ニ) (円)	⑥ 施設工賃費 (ホ) (円)	⑦ 施設工賃費 (ヘ) (円)	⑧ 施設工賃費 (ヘ) (円)	⑨ 施設工賃費 (ヘ) (円)	⑩ 施設工賃費 (ヘ) (円)	合計
2017	1,928	2,928,910	97,795,585	5,517,687	313,163,910	111,111,111	111,111,111	111,111,111	111,111,111	111,111,111	111,111,111	111,111,111	111,111,111	111,111,111	265,985,914
2018	1,986	4,438,820	20,815,237	0	15,725,046	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,725,046
2019	1,976	59,620	2,653,000	0	5,275,946	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,275,946
2020	2,000	59,620	2,653,000	0	5,275,946	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,275,946
2021	2,000	54,400	4,515,000	0	4,515,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,515,000
2022	2,000	89,250	14,250,000	0	5,918,203	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,250,000
合計	10,810	10,965,000	142,131,822	5,517,687	265,985,914	111,111,111	111,111,111	111,111,111	111,111,111	111,111,111	111,111,111	111,111,111	111,111,111	111,111,111	543,650,106

※ 割合(再取償)は4位四捨五入。

(3) 取償・再取償の取扱いの要否

項目	金額
合計	1,077,813,902

(4) 合計

項目	金額
活用可能経費	943,650,106
再取償に必要経費	134,163,796
合計	1,077,813,902

4. 「必要経費算定額」

項目	金額
必要経費算定額	1,077,813,902

5. 「計算の特例」

項目	金額
計算の特例	0

6. 「社会福祉充実額」

項目	金額
活用可能経費	943,650,106
再取償に必要経費	134,163,796
計算の特例	0
合計	1,077,813,902

7. 「状況確認に必要経費」

項目	金額
状況確認に必要経費	259,850,000

活用可能経費	再取償に必要経費	合計	社会福祉充実額
1,077,813,902	134,163,796	1,211,977,698	1,077,813,902

活用可能経費	再取償に必要経費	合計	社会福祉充実額
1,077,813,902	134,163,796	1,211,977,698	1,077,813,902

※ 割合(再取償)は4位四捨五入。